

I 今回のワークショップのねらい

介護保険事業の大きな特徴の1つは、サービスの水準は住民の求める水準によって決められることであり、事業計画を定める際にも「被保険者の意見を反映させるための具体的な措置を講じること」となっていることがあげられます。今回のワークショップは、計画策定段階における被保険者の意見反映の1つの手段として、実施されたものです。

今回のワークショップの大きなテーマは2つあり、1つは「**今、住民はどのような問題を抱えているか、またどのような疑問に直面しているかを理解し、解決策を講じるための検討課題にすること**」、そしてもう1つは「**住民各々が世代を越えて、家族の事情を越えて、お互いの立場を分かり合い、よりよい竹田市介護保険制度を作るための意見を出し合う**」というものです。前者は、行政サイドが住民の意向を充分にくみ取る場として、後者は、竹田市民が世代を越えて互いの立場を理解することによって、市民自らがよりよい介護保険制度を作り上げていく手段の1つとのねらいがありました。

ワークショップ初体験の方も大勢おりましたが、終了後のアンケートでは、とても好評であったとの意見を多くいただきました。



写真：仮想家族の話に盛り上がり楽しい雰囲気でのグループワーク風景

II ワークショップの進め方

今回のテーマ「あなたならどうしますか。」

高齢者や介護の問題は、介護をする側の立場、される側の立場、それぞれの世代、家族構成等、いろいろな事情によって異なるので、それぞれの立場から一方的な意見を話しては解決の糸口が見つかりません。

よって、今回は、参加者誰もが提示された家族の夫となり、妻となり、介護をされる高齢者の立場、さらには近所の人々の立場になって考えるケーススタディを行うことにしました。

ケースは、各グループごとに異なったパターンを提示してあり、グループでの討議後、指名された参加者の一人が代表でグループの話し合いの内容を発表する形式をとりました。



Ⅲ グループ発表の成果等

どのグループにおいても、その仮想家族になりきって、「わたしだったらこうする」という白熱した論議ができました。具体的な自分の家族となると、どうしても遠慮がちな意見しかできませんが、仮想家族の提示のなかで、本当に皆さん「家族になりきった」本音のトークができたと言えます。

また、同時に、各ケースにおける介護サービスの利用案とか、制度の質問等が活発にでて、介護保険の制度のことや利用方法等もわかりやすく学べたのではないのでしょうか。

Ⅳ ワークショップを終えて ～ 参加者アンケートより

ワークショップの最後にアンケートを参加者全員に配布し、会の感想を書いてもらったところ、多くの方々に「良かった」との感想をいただきました。また、介護保険制度についても、「わかりやく学べた」との意見も多く見られました。

感想自由欄

- 大変参考になった。
- 大変勉強になった。
- 介護のしくみがわかった。
- 知らない人と楽しく話せよかった。
- 楽しく本音が言えた。
- ワークショップの内容がすこしわかった。
- 今年中にもう一度行ってほしい。
- 月に一度位開催してほしい。
- 度々の会合で理解できるようになると思う。また開催してほしい。
- 来るまで不安だったが、楽しく参考になる部分があった。ムードがよかった。
- 自分の考えのまとめがよくできなかった。
- 福祉についてなかなか勉強できない生活だった。一歩ずつ進歩したいと思いながら半日を過ごした。
- 老人について理解できた。
- 老人の立場、妻、夫の立場になったみんなの考えを出し合って勉強になった。
- 自由に発表できた。
- 介護保険について少しだけ勉強できた。地域でもわかりやすい説明を望みます。
- 地区でもこんな考え方の発表の機会をもてるとよいと思った。
- この会を各地区でやっていただきたい。
- 市の方の姿勢が「みなさんの要望に応えます」という感じで頼れるんじゃないかと思った。
- 介護保険の成功、失敗は公平な認定にかかっている。公平、客観的な認定などできるだろうか。お年寄りには日々によって状態が違う。

- 嫁、姑の仲などみじんもなく楽しんでいる家庭、自分の立場を涙流して話す人と、いろいろな方々にお会いできて良かった。これから、私も嫁と話し合うように努力したい。
- 社会全体で支える仕組みを早急につくるべき。デイサービスの回数を増やしてほしい。
- こんな機会を多くの場所、多くの人に知ってもらうことが大切である。
- 高齢者、若い人、中年の方等、たくさんの方の意見を吸い上げ、竹田の特色の出せるものを作ってほしい。
- 在宅介護の難しさがわかりました。自分も年を重ねていきます。考えさせられました。地域に帰って身近なお年寄りと楽しく過ごしていきたいと思います。
- 小グループの方が意見が出やすいと思う。他のことについてもグループで市民の意見を聞く場があったらいいと思う。
- 今日、出席しているお嫁さんはみんな優秀な人ばかり。在宅介護を積極的に受け入れている。頭のなかでは理想的なことが思い浮かぶが、現実的にはかなり大変だと思う。
- 嫁が看るのは当たり前、という誤った老人の意識改革がまず先決だと思う。本当に困っているとき、子どもは放っておきません。老人はできるだけ自立してほしい。
- 介護保険制度はありがたい制度です。お金は出しても使わないよう心がけたい。最後は福祉の世話になります。現在79歳ですが、今日の勉強をみなさんに伝えたい。
- 明るく楽しい場所を作り、老人が家に閉じこもらず、話し合える場所を多く作り、また、寝たきりにならないような、健康で人生を送れるような環境づくりを望みます。
- 地方でも同じように格差なく、サービスを提供できるように努力してほしい。